

ユース世代主体のCafeむすびめを舞台とした“伝わる”地域共助モデル構築事業

ひょうごボランタリープラザ地域づくり活動NPO事業助成事業

本事業は、特別養護老人ホーム内に設置した「Caféむすびめ」を拠点に、若者と地域住民が日常的に関わり合い、「支え合い」を体験し、共感として広げていく地域共助モデルを構築することを目的としています。



夢ノ森伴走者CUE

あなたにできる、社会活動を始めよう

活動内容

- ・ 世代間交流カフェ「Caféむすびめ」
毎週木曜日と第2・第4土曜日に営業。
高齢者、地域住民、若者が自然に交流
できる居場所として運営。
- ・ 防災講座の実施（年4回）
防災士を講師に迎え、避難所運営ゲー
ムやクロスロードなどの体験型講座を
実施。
- ・ ユース世代主体の企画・発信活動
CUEラジオ、記事制作をユース世代で行
い活動の背景や想いを可視化。
- ・ 発信・デザイン体制の整備
Canva等を活用し、若者が主体となって
発信。テンプレートやデザインを統一
し、活動の信頼性向上を図る。



活動の成果

- ・ 高齢者の定期利用が増え、世代間交流の
場として地域に定着した。
- ・ 若者が企画・運営・発信を担うことで、
主体性や発信体制の土台が整った。
- ・ 地域行事や防災活動への協力を通じ、地
域からの信頼が向上した。



今後の展望

今後は「地域になくてはならない拠点」としての定着を目指し、若者によるイベント企画や企業・団体との連携をさらに広げていきます。また、発信力を活かした共感型の参加・支援の循環を生み出し、助成金に依存しない自走型の地域共助モデルとして継続・発展させていきます。